



この広報紙は共同募金の
助成金で発行しています。



市内の高校生と共に作った「認知症紙芝居」

当市は高齢化率が40%を超え、超高齢社会となりました。年齢を重ねると誰もが認知症になる可能性があるという新しい認知症観を踏まえ、認知症の正しい理解と若い世代にも高齢者の日頃の状況を知ってほしいという思いから、地域包括支援センターたてやまや市内の高校生と共に認知症の普及啓発に活用するための紙芝居を作製しました。

令和7年11月29日、「介護の日」に合わせて、菜の花ホールで紙芝居のお披露目を開催。館山総合高等学校3年(当時)の生徒さんは「どっちにするの？ 私の気持ち！？ ～おばあちゃんの笑顔のために～」を披露。座学だけでなく、実際に介護施設で高齢者と触れ合い、認知症を介護の現場で学びストーリーに盛り込んでくれました。当日は同校3年(当時)の生徒さん考案の介護ゲームも披露され、高齢者だけでなく子どもたちとも楽しく

認知症を学びました。

安房西高等学校でボランティア協力してくれたみなさんは、「おばあちゃんの魔法のアルバム」を披露。安房高校2年(当時)の生徒さんが作製中の紙芝居は、今後披露する場を設ける予定です。

完成した紙芝居は、今後市内で実施する認知症の普及啓発事業に活用させていただきます。ご協力いただいた高校生、関係団体のみなさまありがとうございました。

編集・発行／館山市社会福祉協議会

館山市北条402 市役所4号館内

TEL.23-5068 FAX.22-8805

e-mail madoguchi@fukushi-tateyama.or.jp

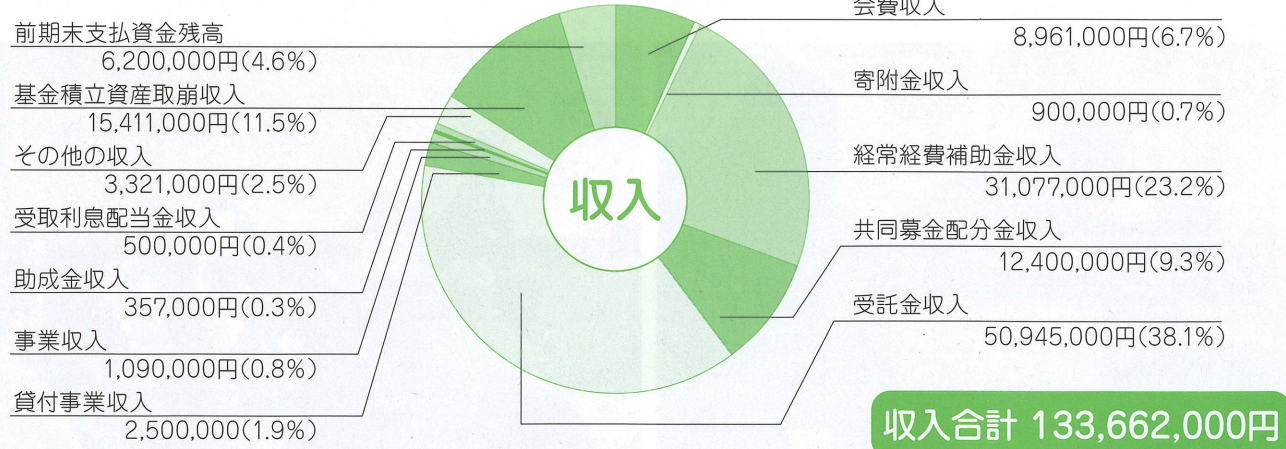
URL <http://www.fukushi-tateyama.or.jp>

令和
8年度

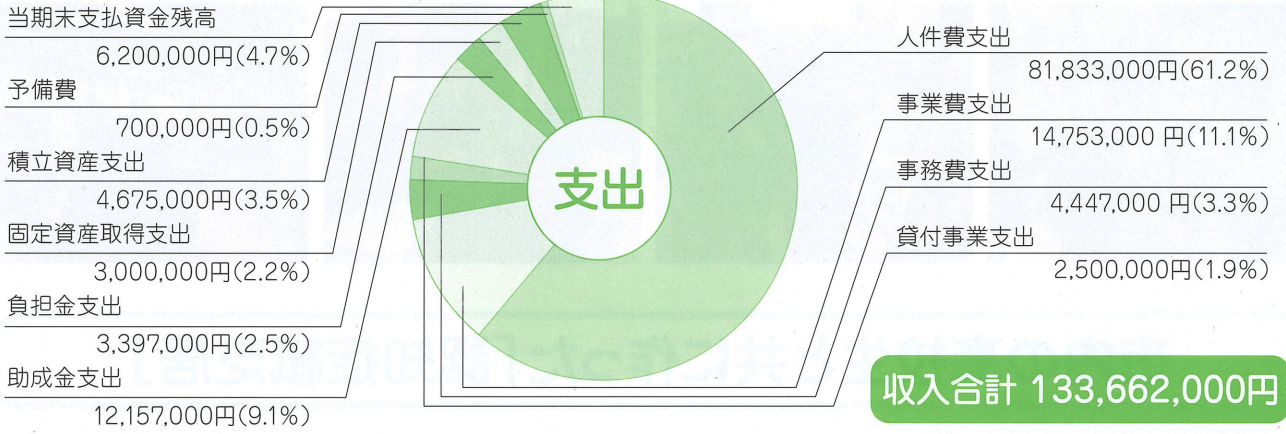
事業と予算のあらまし

令和8年度の予算額 133,662,000円

【収入】



【支出】



令和8年度 事業計画

- 法人運営事業**
会員増強、会費を確保し事務体制を整え、事業の透明化を図ります。

地域福祉事業

 - ボランティア活動**
社協登録ボランティア等に対する援助、指導、研修及び養成を図り、保険の加入を推進します。
 - 災害復旧支援事業**
災害に備えて援護活動に必要な体制の整備を図ります。
 - 共同募金運動**
共同募金会との連携を強化し、「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい運動」に協力し福祉の増進を図ります。
 - 貸付事業**
緊急且つ一時的に生計の維持が困難な方に対して民生資金の貸付けを行い、その方の自立の促進を図ります。
- 福祉相談**
市民の皆様に対して生活上のあらゆる心配ごとの相談に応じ、地域生活の安寧に寄与します。
 - 社会福祉振興基金**
自主財源の確保および地域福祉、在宅福祉の推進を図ります。
 - 受託事業**
市や千葉県社会福祉協議会からの受託事業を実施します。
 - 福祉団体助成**
福祉の向上に資することを目的に助成を行い、団体の福祉活動の活発化を図ります。
 - 老人福祉**
在宅高齢者等への支援を行い、福祉の増進を図ります。
 - 社協支部事業**
住民の自主的参加による地域福祉の推進体制の整備を図ります。

会費にご協力ください

社会福祉協議会は、皆様のご支援により地域福祉活動をおこなう民間の団体です。

社会福祉協議会では、みなさまからの会費、共同募金配分金、館山市からの補助金、受託金などにより事業を実施しています。なかでも会費は地域のみなさまと福祉活動を進めていくための大切なものです。

社会福祉協議会の活動にご理解をいただき、ご支援とご協力をお願いいたします。

一般会費と特別会費は、町内会（区）を通じてお願いしております。施設団体会費は、直接ご依頼をさせていただきます。

会費の種類		
種類	会費 (年額)	説明
一般会費	500円	市内にお住まいの世帯
特別会費	1口 1,000円	社協活動に賛助下さる個人・団体・事業所
施設団体会費	3,000円	福祉関係の施設・団体

館山市ボランティア連絡協議会活動紹介

市内全域を活動範囲として78名の福祉ボランティアが活動しています。

【グループでの活動】

麦の会	毎月、市内の視覚障害者などに対し、市の広報「だん暖たてやま」や「市議会だより」等を、朗読し、CDに録音し無料で郵送する活動をしています。
おもちゃ図書館	毎月第2・第4水曜日に開設しているおもちゃ図書館やマザーズホームのお手伝いをする活動をしています。
おもちゃ修理	毎月第2・第4水曜日、おもちゃ図書館にある在庫のおもちゃなど、破損したおもちゃの修理をする活動をしています。
車椅子ダンス ハビネス	施設の訪問やイベントへの参加により、車椅子を使用したフォークダンスやレクダンス、社交ダンスを車椅子使用者や高齢の方々と踊るなどの活動をしています。（R8年度日本車椅子レクダンス協会館山支部から改名）
劇団あおい SORA	市内の施設や学校・イベント等各地域に出向いて、人形劇・紙芝居等を行っています。
ルリニューアルの会	図書館の破損書籍や安房地域に関する古い関連書籍の修復をしています。
うさぎの会 ぬくもり食堂	子どもシニア食堂を実施し、地域の人の居場所をめざして活動しています。

※長年活動いただいた「給食サービス（配食）」「南房同友会」は活動終了となりました。

【個人での活動】

・老人福祉施設等での活動・子育て支援・かいた婦人の村バザー手伝いなど

◎ボランティア活動についてのお問合せは、館山市社会福祉協議会 ☎ 23-5068 まで

ご寄附のお礼

(受付順・敬称略)

温かいお気持ちをありがとうございました。
みなさまからの寄附金は、地域福祉活動に活用させていただきます。古切手や使用済みテレホンカードは、「NPO法人誕生日ありがとう運動本部」へ送り、バザーや海外旅行のおみやげとして販売し、福祉施設等の活動資金となります。

寄 附 (社会福祉振興基金) R8.1.28~R8.4.22

廣全寺 39,100 円
匿名 2 件 75,685 円

善意の寄附 R8.1.28~R8.4.22

▼古切手.....49 件

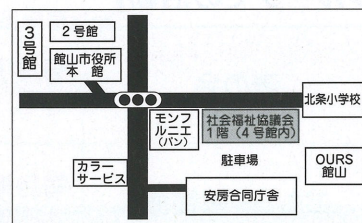
小宮利貞
早川電工 (株)
上真倉区 友和会
杉本良治
(有) 西岬種苗
加藤建設 (株)
居酒屋ひろみ
羽山社会保険労務士事務所
イントコーポレーション (株)
たてやま整形外科クリニック
加藤さき子
高橋由美

石井敏江
和田昭子
真田豊
ヴェルデ北条
菅野哲夫
45 度 早川孝
石井力
八幡青年館
佐藤宏昌
くあとろデリバリーセンター
(有) 市野モータース
市社会福祉課
ガールスカウト千葉県第 15 団
館野地区コミュニティ委員会 会長 飯田博幸
青木静代
市市民課
館山市地域包括支援センターいちご
(株) 安房環境衛生
(株) BOSO food
オリーブ薬局
古茂口の家
石井久美子
宮城健康なかま
(株) カネマス

立正佼成会館山教会
匿名 12 件
▼使用済みテレホンカード 5 件
加藤さき子
宮地佐知子
宮城健康なかま
匿名 2 件

※善意の寄附は、古切手及び
使用済みテレホンカードのみ
お預かりしています。

【受付・お問合せ】
館山市社会福祉協議会事務局
☎23-5068 FAX22-8805
館山市北条402 (市役所4号館内)



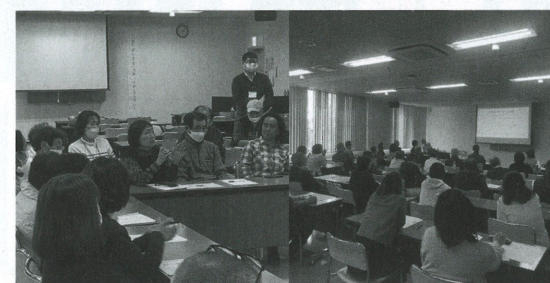
地域づくり

地域の「おたがいさま」フォーラム2026

令和8年3月2日、館山市コミュニティセンターにて「身近な場所への移送支援」をテーマに開催しました。一般社団法人コミュニティネットハピネス代表理事の土屋幸己氏による講演では、移送支援に伴う互助活動の重要性について学び、実際に助け合い活動を始めた地区の活動紹介や意見交換を行ないました。

香地区からは「香おたすけ隊」のメンバーが参加。移住者と共に創り上げる住みよい地区・ボランティア自身もやりがいを感じながら楽しんで取り組んでいることについて紹介。神戸地区からは「神戸ぐるっとお助け隊」のメンバーが参加。運転者講習会を開催し、地区の回覧板でボランティア募集を行なった事例を紹介。

参加後のアンケートでは、「自分の地区でも互助活動に取り組みたい」と回答して下さった方が多数いました。住民同士の互助活動に取り組んでみようと考えている地区の皆様、是非当会へお声かけ下さい。



元気づくりマップ2026版の発行

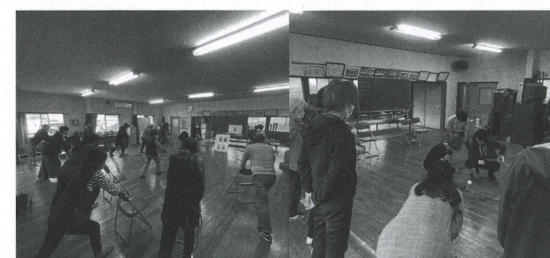
令和8年1月、市内の地域包括支援センター4カ所と共に昨年に完成したマップの最新版を発行しました。昨年は、「通いの場に行ってみたい」「通いの場を立ち上げたい」「通いの場ってどんなところ？」など、通いの場を身近に感じてもらうためのきっかけとして活用しました。今年は、新たに増えた通いの場の掲載や開催内容の変更などを行なっています。

元気づくりマップはお近くの地区公民館・地域包括支援センター、高齢者福祉課や当会で配布しています。カラフルで見ても楽しい内容になっています。是非お手にとってご覧ください。

長須賀いきいき体操教室

長須賀中央ホールで毎月第1・第3水曜日の13:30から開催されている体操教室へお邪魔しました。地区内に住む高齢者の健康づくりの取り組みで、保健推進員が中心で開催されています。この日は、年度替わりで新体制となった保健推進員8名の紹介もありました。

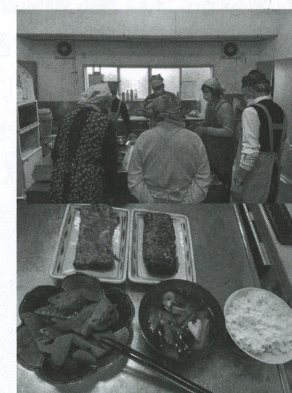
「元気がでる体操」を終えた後は、みんなが楽しみにしているポッチャ。3チームに分かれて競い合いました。この日はあいにくの雨模様でしたが、楽しい笑い声がホールに響いていました。定期的に外出する機会があること・他者と話をして笑い合うこと・身体を動かして筋力や身体機能を維持することは健康寿命の延伸につながります。ご近所の「通いの場」を活用して、健康づくりに取り組んでみませんか。



男の料理教室in九重公民館

令和8年2月20日に開催しました。講師は館山ケアセンター夢クラブの管理栄養士で、三木亜矢子氏と青木純華氏。この日のメニューは、ご飯・根菜の煮物・卵焼き・具沢山味噌汁。スーパーで手軽に手に入るおかずを活用したちよい足しレシピを教わりました。

会食中には「介護食」の話題。妻を介護中の方には、今回作った煮物の具材をじゃがいもなどの柔らかい物に替えることでつぶしやすく食べやすくなると管理栄養士からアドバイスがあり、「やってみようかな」と笑顔。愛情のこもったおいしい介護食が作れるってかっこいい！



令和8年度(第29回)

千葉県介護支援専門員実務研修受講試験の実施について

試験日時	令和8年10月11日(日) 10時~
受験資格	医療・保健・福祉分野の有資格者などで一定期間以上の実務経験のある方 ※平成30年度から受験資格要件が変更されています。詳しくは試験案内をご確認ください。
申込書配布期間	令和8年6月1日(月)~6月30日(火)
申込書配布場所	各市町村役所・役場 介護保険担当課、各市町村社会福祉協議会 県高齢者福祉課、各県健康福祉センター、県社会福祉協議会、県福祉人材センター ＜送付を希望される方＞※6月19日(金)までに千葉県社会福祉協議会へ到着した分のみ A4判の入る「角2サイズ」の封筒にご自分の住所・氏名を明記し、320円切手を貼付した「返信用封筒」を下記 問い合わせ先あてに送付してください。また、送付する封筒表面に「令和8年度千葉県介護支援専門員実 務研修受講試験案内送付希望」と明記してください。なお、受付可能日より前に返信用封筒をお預かりする ことはできませんが、返送は申込受付期間以降となります。
申込受付期間	令和8年6月1日(月)~6月30日(火) ※当日消印有効 簡易書留による郵送受付のみ
問合せ先	千葉県社会福祉協議会 社会福祉研修センター (ケアマネ担当) 〒260-8508 千葉市中央区千葉港4-5 TEL 043(204)1610/FAX 043(241)5121 ホームページ http://www.chibakenshakyo.com/

社のひろば

案内

心配ごと相談

財産・家族・介護など、心配ごとや悩みごとのある市民のみなさんからの、相談をお受けしています。

- ・一般相談／当会相談担当職員による相談
日時：毎週火曜日（休日の場合は翌開会日）
時間：午前10:00～午前12:00
午後1:00～午後3:00
（予約不要 当日受付順に相談）
電話（☎ 24-0294）での相談もお受けしています。
- ・専門相談／弁護士による専門相談
日時：毎月2回（曜日不定）
時間：午後1:00～午後3:00（1日2件）
（予約必要 まずは一般相談を受けてください）
- ・場 所／市役所4号館 1階（旧市民センター）
【問合せ】社会福祉協議会（☎24-0294）

入れ歯回収ボックス

社会福祉協議会では平成20年から「入れ歯回収ボックス」を社会福祉協議会事務局に設置しています。

【回収の対象】

入れ歯以外にも、歯にかぶせた金属（クラウン）、歯と歯をつないだブリッジなどもリサイクルできます。ただし金属のついていない入れ歯の回収はいたしておりません。その他アクセサリなどの貴金属（金・プラチナ・銀）も回収いたします。

【回収ボックス設置場所】

- ・社会福祉協議会事務局
（市役所4号館内）



給付

シルバーカーの給付

病気等の理由で身体機能に支障がある方に、在宅生活においてシルバーカーを給付することにより介護者の負担を軽減し、利用者の自立や日常生活の安定を図ることを目的としています。

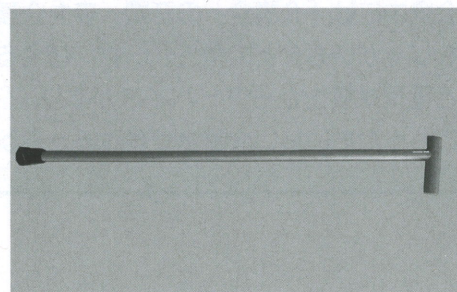
- ・対象者／市内にお住まいで在宅の65歳以上の方で市県民税非課税世帯、介護保険制度を利用していない方
- ・費用／無料
- ・申込／社会福祉協議会にお申込ください。
【提出書類】給付申請書（社会福祉協議会に用意してあります）および、生計同一者の所得証明書（非課税証明書として）（市役所の市民課で交付しております）
※給付は原則として1人1回限り
※すでに所有している方は対象外



つえの給付

加齢や病気等で、歩くことに支障がある方に、つえを給付することにより日常生活における歩行の負担を軽減し、生活の安定を図ることを目的としています。

- ・対象者／市内にお住まいの歩行困難な65歳以上の方
- ・給付制限／過去3年以内につえの給付を受けていない方
- ・費用／無料
- ・申込／各地区の民生委員にお申込ください。



貸出

福祉カーの貸出

車いすに乗ったまま移動することのできる車両を貸出することにより、介護者と利用者の負担を軽減します。

- ・貸出対象／市内にお住まいの心身障害者や高齢者とその家族、福祉活動をおこなうボランティアなどの福祉団体
- ・貸出期間／原則として1日
（午前8:30～午後5:00）
- ・費用／市内利用無料、市外利用は燃料費のみ負担をお願いします。
- ・申込／社会福祉協議会（☎ 23-5068）
（必ず事前にお電話にてご予約ください）



高齢者疑似体験セットの貸出

疑似体験セットを貸出しています。疑似体験セットとは、加齢などによる肉体的機能低下や心理的变化を疑似的に体験するものです。

- ・片マヒ体験セット
脳の疾患や事故などで体の半分がマヒしてしまった場合の体験セット
- ・高齢者疑似体験セット
高齢者の体の変化やこころの変化を学習する体験セット
- ・貸出対象／市内の学校での福祉授業や総合学習（小学校5年生以上が対象）、各地区で実施する介護教室などの学習会・ボランティア団体や福祉団体など
- ・貸出期間／原則1週間以内
- ・費用／無料
- ・申込／社会福祉協議会（☎23-5068）へ電話でご確認のうえお申込ください。

福祉用具の貸出

福祉用具の種類



◎車いす



◎歩行器



◎足こぎ車いす

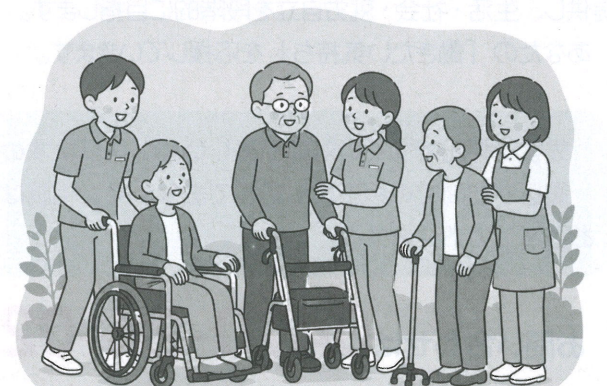


◎四点杖

足こぎ車椅子とは？

脳卒中などで歩行困難となった方が、両足でこぐことにより脊髄の歩行中枢を活性化させ機能が回復するというリハビリ効果が期待されています。

- ・貸出対象／市内にお住まいの在宅の方で、介護保険法または障害者総合支援法の対象とならない方（介護保険等による福祉用具の利用を優先してください）
ただし、介護保険等の対象者であっても、福祉用具を日常生活において常用するのではなく、旅行または冠婚葬祭などの行事において、その間だけ一時利用する場合は貸出可能です。
- ・貸出期間／原則3ヶ月以内
- ・費用／無料
- ・申込／社会福祉協議会（☎ 23-5068）へ電話でご確認のうえお申込ください。



生活や仕事でお悩みの方ご相談ください

自立相談支援のご案内

館山市社会福祉協議会では館山市より委託を受け、さまざまな事情で生活にお困りの方からの相談に応じております。仕事、お金、住まい、生活、家族など一人ひとりの状況にあわせて解決策と一緒に考えていきます。

事例① Aさん(1人暮らし・50代・女性・パート)

両親亡き後、パート収入と不足する部分は親の遺産で生活してきました。預貯金 が尽きると消費者金融から借金して生活費に充て、借金の総額は約100万円まで膨 れ上がってしまいました。月々の返済が困難になり、税金も滞納するようになり、債 務滞納を何とかしたいと相談に来所されました。

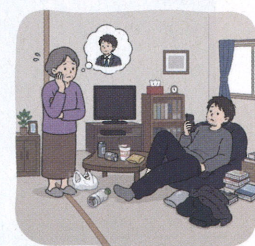
→家計改善支援事業を利用し、家計の見直しに取り組むことにしました。債務や滞納 については専門機関と協働し、解消に向けた策と一緒に考えていくことになりました。



事例② Bさん(2人暮らし・40代・男性・無職)

70代の母親と暮らすBさんは高校卒業後、仕事が長続きせず離職を繰り返していました。現在は仕 事をせずに母親からもらったお小遣いでコンビニに買い物に行く以外、自宅で過ご しています。経済的に困っているわけではありませんが、将来を心配した母親が「自 分がいつ亡くなるかわからないから就職して欲しい」と相談に来所されました。

→Bさんとの面談を重ねる中で、仕事はしたいものの自信がなく一歩を踏み出せな いという事がわかりました。就労準備支援事業を利用し、就労について様々な課題 や実習などを通して一緒に考えていくことになりました。



自立相談支援事業(就労支援)

困りごとや不安を抱えて生活している方の相談を受け、自立に向けた支援を行います。ハローワークと連携しながら就労支援を行います。

就労準備支援事業

直ちに一般就労する事が難しい方に個別プログラムを提供し、生活・社会・就労自立を段階的に目指します。

あなたの「働きたい気持ち」を応援していきます。

住居確保給付金

離職や休業等により住居を失った方、失うおそれの高い方に、求職活動等を条件に有期で家賃相当額の支給を行います。

家計改善支援事業

家計の「見える化」を行い、家計管理ができるようお手伝いします。必要に応じて債務整理の専門家への紹介や貸付のあっせんなど行います。

先客や外出ですぐの対応が難しい事もありますので、事前に一報いただくと大変助かります。

電話や訪問での相談にも応じております。相談は無料、秘密厳守です。ご家族など周りの人からの相談もお待ちしております。

お問い合わせは **0470-24-0294** (相談室直通)